

Aグループ

EVの推進

ゼロエミに反対方向である自動車会社の新車を買わない

EV足跡のために電力ステーションの増設

EVを急ぐな普及電力不足

EV推進と同時に電力源を考える

電動自動車・電動自転車の活用

新しい技術開発

新しい日本のレアアースの研究を武蔵野市が取り組む！

産官学↑重視すべき

新しい技術開発を市が推進する

横河 NTTデータとか

ベンチャー企業を育てる！

働く学ぶ

幼児から高齢者まで利用できる武蔵野市のコミセンを利用しよう

①市民の誰もが自由に利用できる市民運営の多目的施設

②コミセンは武蔵野市内に16か所ある

時差出勤で混雑を減らす

遊ぶ

電化済み移動手段で遠出

化石＝鯨油なみの古いイメージづけを

道を変える

バスウェイ

安全に走れる自転車道路の整備

ソーラーパネルが屋根となるサイクルロードもどこまでも

ソーラーパネルが車道

歩道と自転車道を分ける（白線じゃなくて）

革新的インフラ＝ナッジ

バイパス道路が、五日市は普通に

幹線道路への車の乗入制限（吉祥寺駅周辺）

シェアカー相乗りを

相乗りする同じ会社の人同士

塾に通うシェアカー・バス

シェアカーの活用

借り自転車

塾生バスをつくる

相乗りアプリの採用

自転車電動自転車

電動自転車バッテリー交換をいたるところで

移動＝自転車がデフォルトな都市設計

移動は徒歩、自転車、バス（ムーバス）

コミュニティ会話→安全

夏涼しい冬雪がない雨にぬれない

健康寿命の増進、予防（未病）

選べる配達法（ゼロカーボンオプション）

ムーバスの活用

雨の日はバスの本数を増やす

利用率を上げる

ムーバスの拡張（西側）

武蔵野市の「ムーバス」を活用する

①「ムーバス」は日本初のコミュニティバス

②現在の3路線の本数を多くする

駅への車の乗り入れ禁止してムーバスを！

市内タクシーをムーバスに変える

ムーバスはEVに変える

アンケートの導入

AIムーバス（位置+乗車予測）

ムーバス市をまたいで増やす

クリーンセンターで発電した電力で、ムーバスを走らせる

追加意見（会議後アンケートより）

Bグループ

CO₂の出る乗り物を所有しない

CO₂の出ない乗り物に乗る

車がない家庭にEVと同等の補助金

シェアサイクル

車なしの生活が選びやすくなる

駅近辺の駐車場を駐輪場に転用

市のHPがもっとカジュアル＆ポップに

情報発信が分かりにくい

ムーブスのほんすを増やしてほしい

気軽に使えるから利用者が増える

駅周辺は「ヒト」にとって快適になる

駐輪所を色々な場所に欲しい
道ばたのお店に寄りやすくさせてほしい

オランダ風道路設計

自転車や電車を多く利用する

公共交通機関を利用する

バス専用車線を拡大普及

自転車線の距離（車からとらなければいけないかな？）

・道路は整備されて、歩いたり、自転車が走りやすくなる
・健康になる

CO₂が削減健康的な生活

バスが合理的な選択肢になる

自転車の道をもっと整備してほしい

徒歩、自転車が移動時の選択肢として得になる

駐停違反の厳格な取締

とはいえ、今の道路は自動車税で作られてる。どうやって整備する？

波及効果

そうすることの効果、影響とは？

歩く（楽しんで）

武蔵野市の歩くマップを作る

運動する習慣をつける「歩く」ことでお得になるサービスとか

とにかく歩く
境→吉祥寺は少なくとも片道は歩く

公共施設を利用する（認知度が低い）

クーラー、暖房の節約本も集中して読める

行動

私のくらしで脱炭素社会対応型の行動とは？

健康になる歩こう会が増える

混雑回避健康になる

遊歩道を使って、公園へ
上水道→小金井公園、井ノ頭公園
境から→中央公園

健康に良いお金も使わない

節水に努める

節電に努める

働くベッドタウンじゃなくなっている
↓
企業増える？

まとめ

つまり、何が必要？

武蔵野市で実現するしたら？

歩きやすい街へ遊歩道の整備
住宅の緑を守る

歩いて武蔵野市の歴史を知ろうツアーの実施
中島飛行機とか

活動しやすい街
コミセン、お宮、図書館、地域活動への参加

武蔵野市のHPで
・歩こうポイント制を作ってほしい
・遊歩道の紹介

環境を整える
無駄を除く
水道料を調整

蓄電池、太陽光パネルの有効利用

期間限定で車の乗り入れ制限をして、自転車、歩行者優先地域にする

企業が増えれば、町で働く選択肢が増える

まちの中でたのしく過ごす

同じ感覚・価値観を持っている人が集まる

市民活動が余暇活動に遊んでいるような感覚で参加する、仲間作り

友達、知り合いが増える

プレイス、市民会館を使う
移動そのものが少ない

市民活動が生まれる

地域のコミセンを使う
地域活動に参加
知り合わせできる

どれも、やってみないと分からないので、チャレンジする市民提案ができるといい

市だけでもできないから、市民で考える
↓
一緒に、実験してほしい

「市の施設でふらっと立ち寄っていい」を知らせてよいかも

個人の意識の問題だが、市から発信が必要

追加意見（会議後アンケートより）

市民からの要望をチャレンジできる制度。

多くの人は自転車を使いやすくする取り組みを支持しているようですが、車優先街づくりの維持を強く訴える方もいらっしゃいました。この少数派の気持ちを尊重するのが大事である一方で、デンマークやオランダみたいな道路転換への進捗を拒ませてはいけなと感じました。妥協しながら進まなければいけないかもしれないが、それでも進まざるを得ません。

住宅地の緑を守ることで環境改善・遊歩道を補かンできる。

徒歩・自転車

駐輪場、シェアサイクルの整備

コンパクトシティ

自転車しか使わない（市内）

自転車・徒歩移動

自転車のルール・マナーを今一度見直す程度を作る

近い場所への移動は徒歩にする

高齢者向け自動3輪車

シェアサイクリング事業

公共交通機関

公共交通機関の完全EV化

公共交通機関での移動

シェアタクシー相乗り

EVバス

ムーバスEV化

移動が減ると公共交通機関のサービスが低下

市内で、風力発電等、再生エネルギーの設備を設置する

自転車置き場の拡充

自転車道路の全面導入

個配をなくす、集積場に取りに行く

集積場を作る

道路面は、CO2を吸収する素材を使用

緑が増える

道の整備

自動車

ハイブリッド車、電気自動車に買い替える

なるべく大人数の時だけ車を利用する

ESG経営の促進

市内の大学・企業から脱炭素の取り組み・施策を募集

脱炭素を推進している企業を表彰する

市の長期計画の中で脱炭素の施策の優先順位を上げる

働き方改革

交通規制の強化（ソフト面）

道路の整備
or
交通規制の強化

道路・設備（ハード面）

在宅勤務促進

働き方改革

在宅勤務

ワークライフバランスの改善

住みやすい街になる（空気、道路等）

100%在宅勤務

移動時間（無駄）がなくなる

運動不足が解消になる

在宅勤務、オンライン会議

睡眠時間が多くとれる

経費・交通費が浮く

オンラインで働く

家族との時間が増やせる

出張は本当に必要な時だけにする（リモートのできるならリモートで）

職種による課題

企業が在宅勤務をすすめる（在宅と出社の日を定める）

シェアオフィス整備

近場のシェアオフィスを利用

市の魅力を高めて、若者が移住する市とする

図書館のどこかにシェアオフィスを作る
無料シェアオフィスの整備

企業の誘致

関わったことがない人とコミュニケーションがとれる

クリーンセンターを増やし、市内の電力を賄う

脱残業

残業部屋

残業しない

ストレスがなくなる
過労が防げる

賃金UP！

人生100年時代とは言え、高齢まで働くのは実際厳しい。

労働時間でなく、成果で評価

エネルギーを使わず遊ぶ

お金がたまる

自然の中で遊ぶ

（高くても）近場で買い物

家で遊ぶ

地球振興券の配布

公園の整備（子供用トイレ）

公共交通機関での旅行

遊ぶ場所づくり

大人が遊ぶ場所が少ない
知的な遊ぶ場所をまちの中に拡張してほしい

各年齢層が合同で遊べる場を検討してほしい。
ユニバーサルデザインの公園とか

その他市への願い

ウクライナでの戦争を市としても国に提言する

追加意見（会議後アンケートより）

Dグループ

動く

市内は歩行か
自動車で移動
する

シェアサイクル
を使ってみる

自転車、徒歩、
どちらも好きだ
が、安心できる
自転車道がない、
真夏どちらも
熱中症の危険！！

体力作りの
ために歩く
(アイデア
が浮ぶ)

高齢の方の移
動を他付けるよ
うなことをする

歩く

自転車
のシェア

個人として努
力しているつも
りだがそれぞれ
の事情でどうに
もならないこと
は多い

公共交通機
関を使う

歩くことを苦
にしない

行動

自転車を積
極的に使う

カーシェアリ
ングの利用

カーシェアリ
ング

カーシェアリ
ング
バス電車の利
用

ゆったりと
行動する
(時間の
余裕)

100歳まで
元気に

健康になる

体力維持
いつまでも
元気に！

それぞれに
合った行動
手段を選ぶ

便利になる

年を重ねても
健康で元気な
人が増える街

CO2の少
ない街

歩く喜びを
知れる

つながり
のある街

歩くのが楽し
くなるような
歩道の整備

歩きやすい
環境づくり

遊歩道をも
っと造る

水辺の再生
樹木アーケード
(歩道etc)

(ボランテ
ア団体が安く
使える場所
や建物を増
やす

高齢者には
テンミリオンハ
ウスをもっと
増やす

運営する側を増
やす(担い手不足)

小さなイベ
ントを増やす
イベントをも
っと知ってもら
う

コミセンのお
まつりの復活
と充実

市民に乗り放
題バスの年間
配布

助成金でエコ
なバスを増やす
(小型で本数
を増やす)

休める場
所を作る

ベンチを
置く

市の制度を
簡単にする

市の行政
サービスを
もっとアピー
ルする

時代に即し
たサービスを
考える

弱者の視点
に立つ

近くの人を思いやれるような
状況にない日本だと思う
駅で困っている人を手助け
する人がいない。珍しい国
だと言われている。それはど
こから来るか。本当はやさ
しい心はあると思う。それを出
せるつながりを考えたい。

人とふれあうこ
とができるイベ
ントを増やす

若い世代も
もっとコミセン
利用しやす
い仕組み

働く 学ぶ

在宅ワーク

従業員にエコ
の意識をさせる

高齢者総合セ
ンターを活用する
(趣味、運動)

地域ボランテ
アに参加

新しい仕事
がうまれる

電動自動車
の利用が増える

女性の働き方
のバリエーショ
ンが増える

安心安全な街
で人口が増える

電動自動車の
税制制度など
しが行っている
制度を知る

どうしても遠くま
で移動しなければ
生活が成り立
たないことなど事
情をよく理解し
合いたい

Dグループ

遊ぶ

地元など住んで
いる地域で遊ぶ

近くで楽しいイ
ベントをやる

アウトドアアク
ティビティの普及
(登山、ラン)

コミセンを活用
する(サークル)

世代問わず
楽しい街

顔見知り
が増える

地域内でのコ
ミュニケーショ
ンが増える

笑顔が
増える

孤独にならない
(孤独死
がない)

仲間ができる

追加意見 (会議後アンケートより)

Eグループ

CO₂は嫌なもの

動く

可視化

CO₂を可視化

移動に使用したCO₂の量でレンタル価格が変動する

再生エネで動く乗り物を使う

再エネ

地区ごとのCO₂量が分かるスポット

きたないという感覚

一年に一回CO₂排出量をプールに可視化してみんなでそうじする

移動手段

電動スクーターを使う

自動車は週末だけにする

普段の移動は自転車・歩き・電車

EV 電動自動車 電動スクート、ボード

自転車を使う

スクーター タクタク 人力車

大学で徒歩圏内は住宅補助

走る

歩く

京王さんJRさんでの市内駅構舎にソーラーパネル

ラッシュアワーを外した改札通過にJREポイント

JR、私鉄が再エネ

吉祥寺駅が再エネ100%になる「皆、使おう」にする！

電鉄やバス会社を選べるように

地産地消エネルギー

住み続けたい武蔵野市に

都市計画から立てる

働く (学ぶ)

仕組

夜遅くまで働かない

時間単位で仕事をシェアする

介助の人を増やす

購入者の目線

「欠品しない」をやめる

安く運ぶを優先しない

コロナで定着 パーチャル

VRで働く

テレワーク等で移動の削減

Share space

Share officeで働く

Public cafeで働く

シェアサイクルと再エネシェアオフィスのセット割り@吉祥寺

武蔵野市の提案が市外に波及する

遊ぶ

啓発

姉妹都市（田舎）で遊んだらクーポンゲット

キッズスペースに再エネ、リサイクル素材を

遊具ではなく、自然の中での「遊び」の選択

Yokogawaさん協力でキッズ向け再エネイベント

兼ねる

遊びを仕事としてもらう（子供と遊ぶスポーツをする）

発電・創エネの仕組

体を使ったら発電させるシステムを使う（ダイナモ発電）

市内の映画館再エネ100%！

使ったエネルギーを回収する
↑
人力発電、圧電効果

地産地消のエネルギー発電

近所で

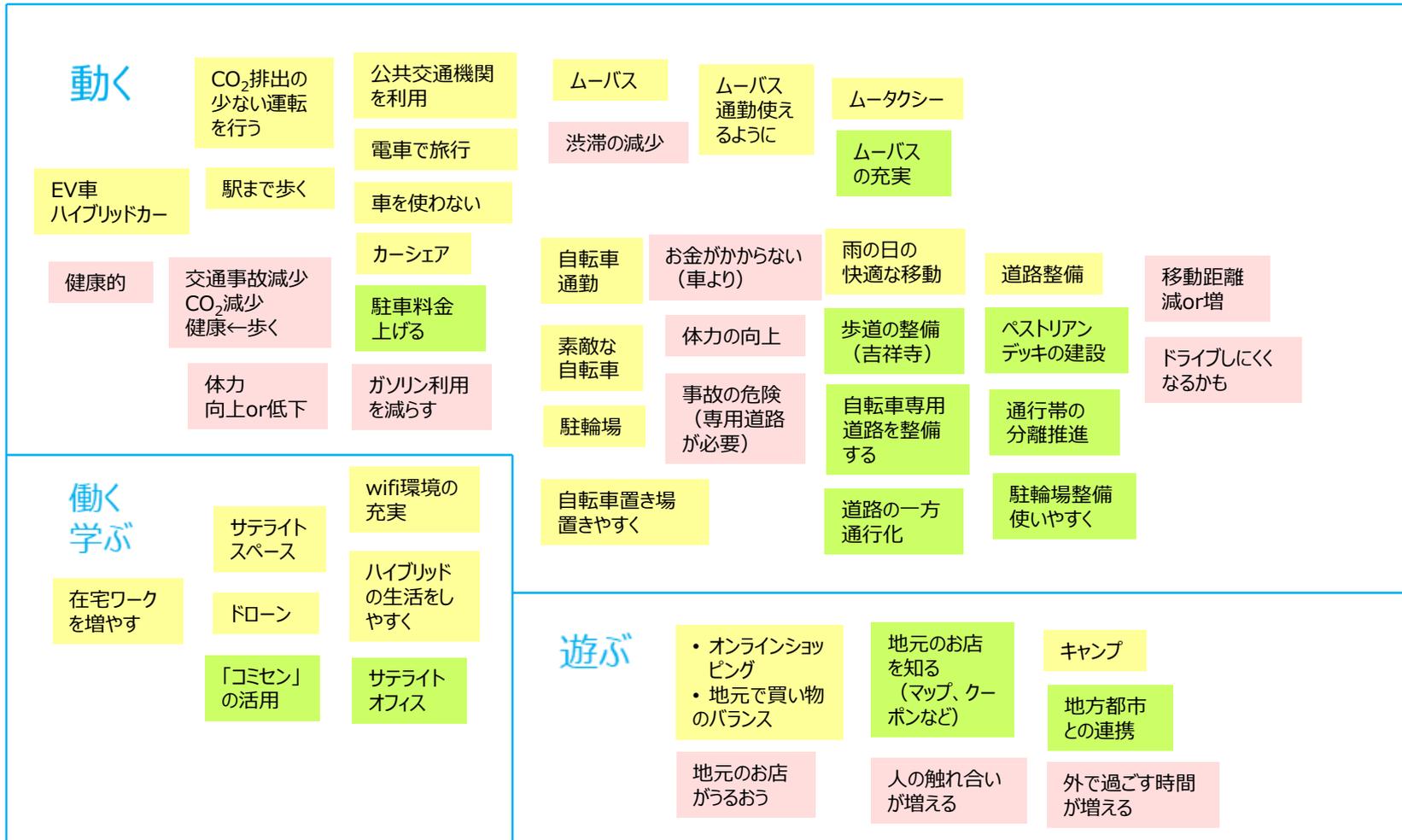
子供が外で遊べる企画

外で楽しく遊べる公園を増やす

近隣で充実したイベントを増やす（移動の必要が減る）

市のエコのイメージ、フラッグ

追加意見（会議後アンケートより）



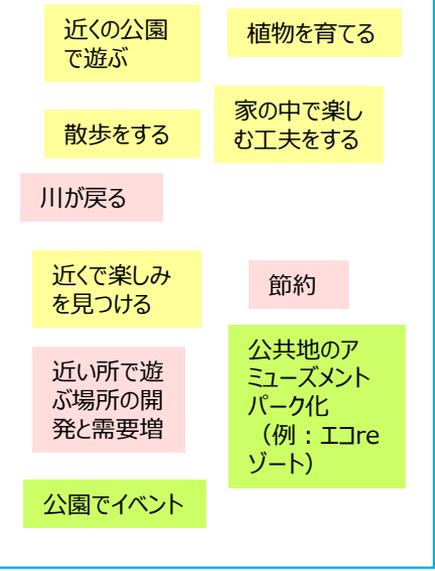
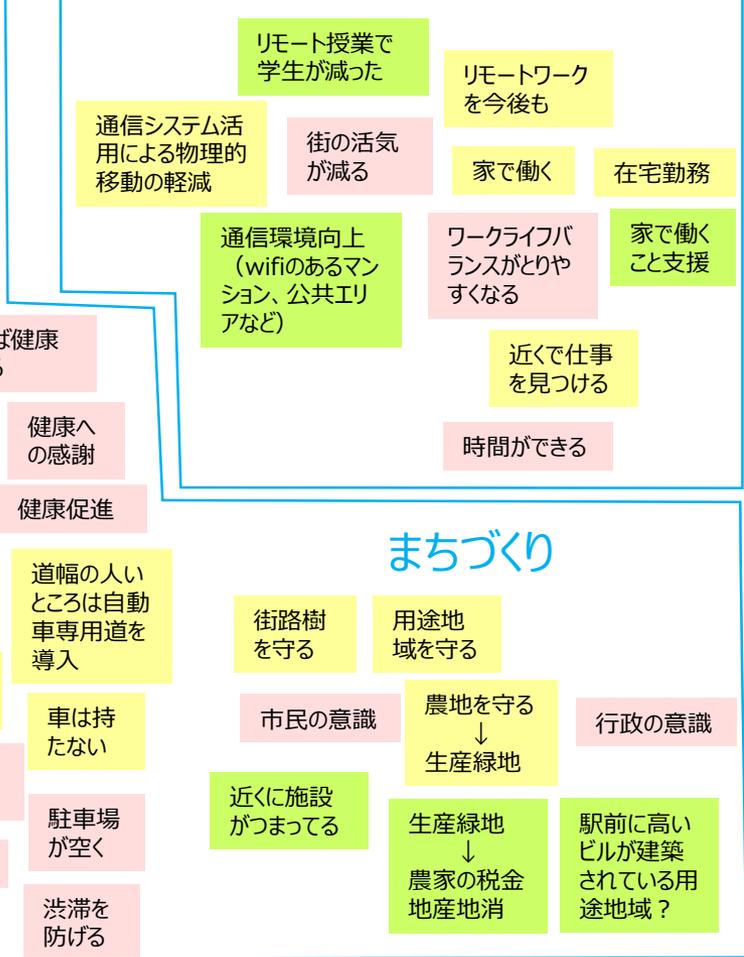
追加意見（会議後アンケートより）

市という行政単位でできる、鉄道/路線バスに準ずる移動手段の新規導入（例えば電動スクーター）や拡張（例えばムーバス）、それらへのきめの細かい支援（例えば駐輪場整備）を考える時期に来ているのではないかと。

動く

働く（学ぶ）

遊ぶ



追加意見（会議後アンケートより）

移動に関しては、個々の移動手段を検討するほか、全体のバランスをとりつつ利便性を向上させるため政策的に取り組む事が大切ではないかと思いました。

Hグループ

遊び・旅行・交流

カーボン消費の少ない遊び（サーフィン、ウォーキング）

旅行、人に会うことはやめないが、手段を工夫

ロボットと人の分担を利益からではなく、人の幸せから決める

市内にまんべんなくコワーキングスペースを設置

市民交流の活性化（コワーキングスペースで）

電気を使わない遊びを子供たちに教える

公共インフラの整備

トラックも水素か電気に

公共交通の独立採算をやめる（補助金は必要）

レンタカーはエココカーにする（選ぶ）

動かないで済ませる

動かない

- ・テレワーク（リモートワーク）
- ・ソフトゲーム（遊ぶ）
- ・リモート授業

テレワークを50%以上に（ホワイトカラー）

テレワーク
すぐしやすい自宅に

家族の時間が増える（テレワークなど移動が減れば）

環境に配慮した企業が増える

公共交通機関をゼロカーボンへ変える

ムーバスはEVにする

公共交通機関バス、電車をシームレスに（MaaS）

移動手段の多様化

自家用車を使わない

- ・歩く
- ・自転車
- ・バス
- ・電車

輸送手段を増やす（ショッピング等）

選択肢を増やす（環境に良いもの）

電車を使う
値段で選ばない

市民と同様に企業のあり方を考える（CO₂40%）

バス料金が下
がれば
↓
家計が助かる

バスの料金体系が変わると、バスの利用者が
増える
市の公共交通機関の収入が増える
→市の財政に寄与？

EV車ゾーン
→地域の価値増大（中心部）
→脱炭素の費用を頂ける

自転車の活用とそのための整備

自転車用道路を車通りの多い道路すべてに設置

- ・歩きやすい道
- ・自転車で走りやすい道
- ・バスをEVに
- ・バス料金を安く

市内は自転車で移動（市内は車で移動しない）

個人
企業 △ 行政

環境に配慮した企業で働く（教育）（学ぶ）

文化の構築
教育の施行

教育・評価

電車にホームドア設置（遅延による電車の抵抗感を排除）

再び納得感とお得感（接続的な）

住民の意識協力（啓蒙活動）

環境意識の高い企業/商店が集積して武蔵野市のブランディングに

車道、自転車道、歩道を分ける（安全に）

歩道や自転車道の整備
→街路樹が増えてCO₂吸収

健康になる（肥満防止）

シェアサイクルを使う

自転車サイクル（放置自転車の回収の後）

シェアサイクル増設（返却場所を増やして）

規制 規制

行政による制度・ルール
の策定
インセンティブ
ルール
ペナルティ？

武蔵野市から発信し日本のスタンダードに

まちづくりは2050年のQoLに基づいて！（市民会議の定義）

環境規制ルール

危機感

日本の基本計画の見直し
→国→地方
→個人

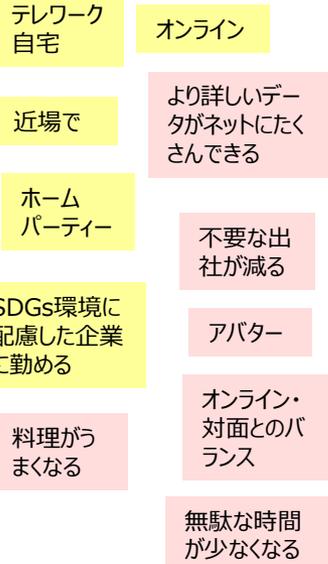
QoLの向上

市の空気がきれいになる

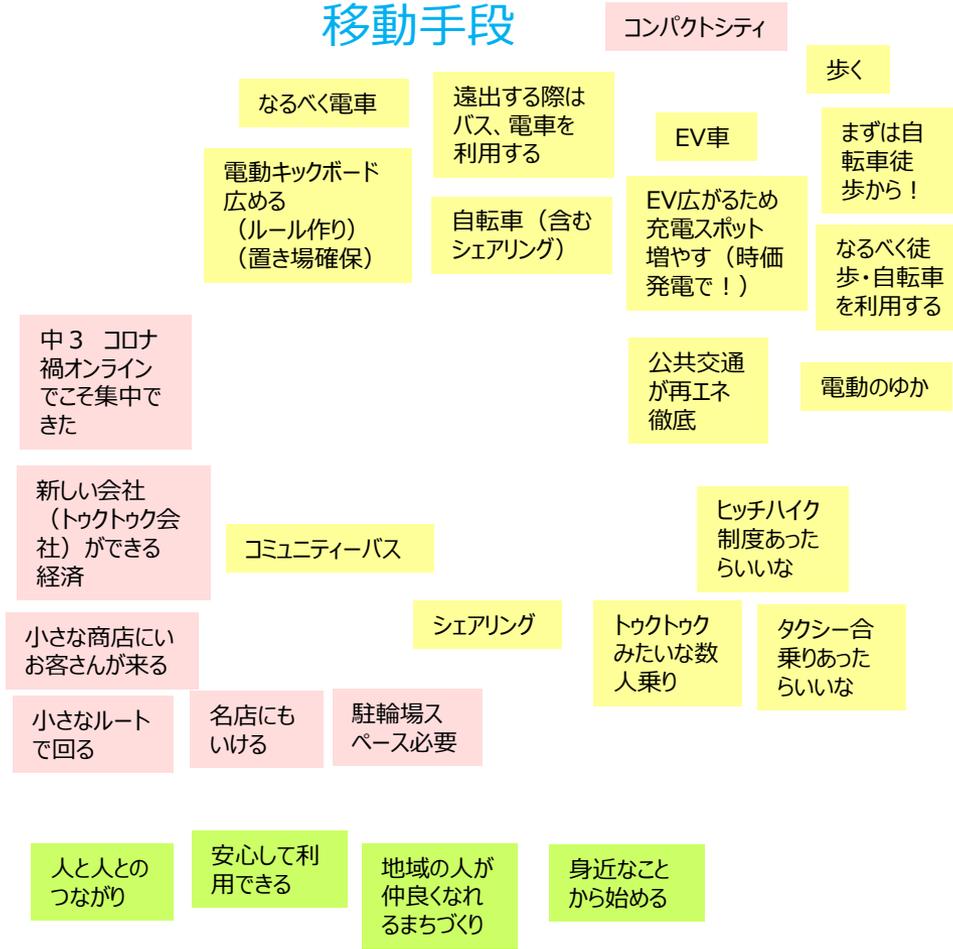
追加意見（会議後アンケートより）

I グループ

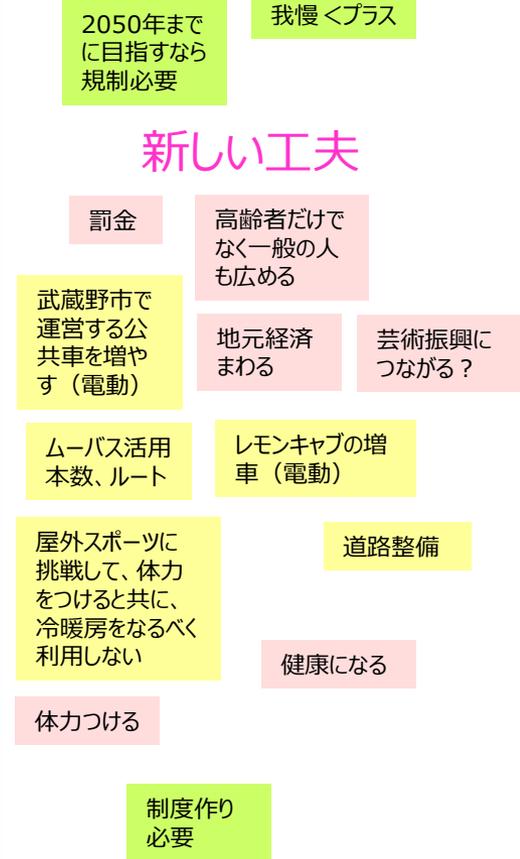
働き方



移動手段



武蔵野市に求めること、提案



追加意見 (会議後アンケートより)

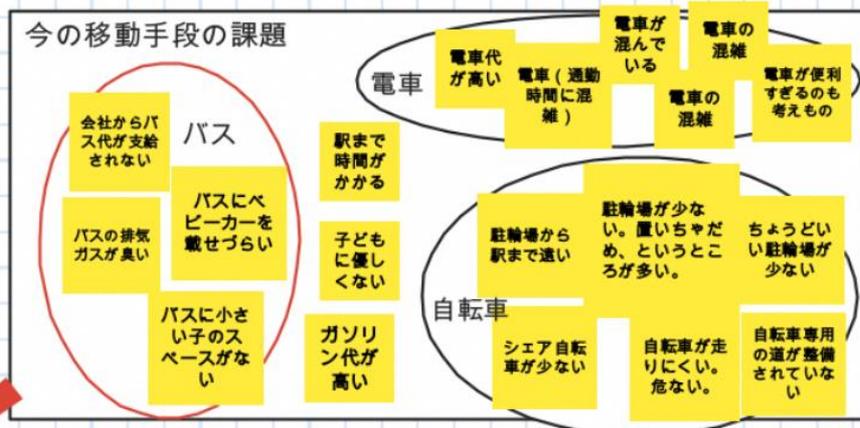
私は武蔵野市の高齢者住宅に務めていた経験からレモンキャブの利用を薦めております。レモンキャブを知らない方が多いので、もっと広めて増車して頂けたらと思います。

今後、他の自治体にも広げていきたいという意見はとても良かった 移動手段のCo2排出量の見える化→これを基準に市民が選べる仕組みづくり

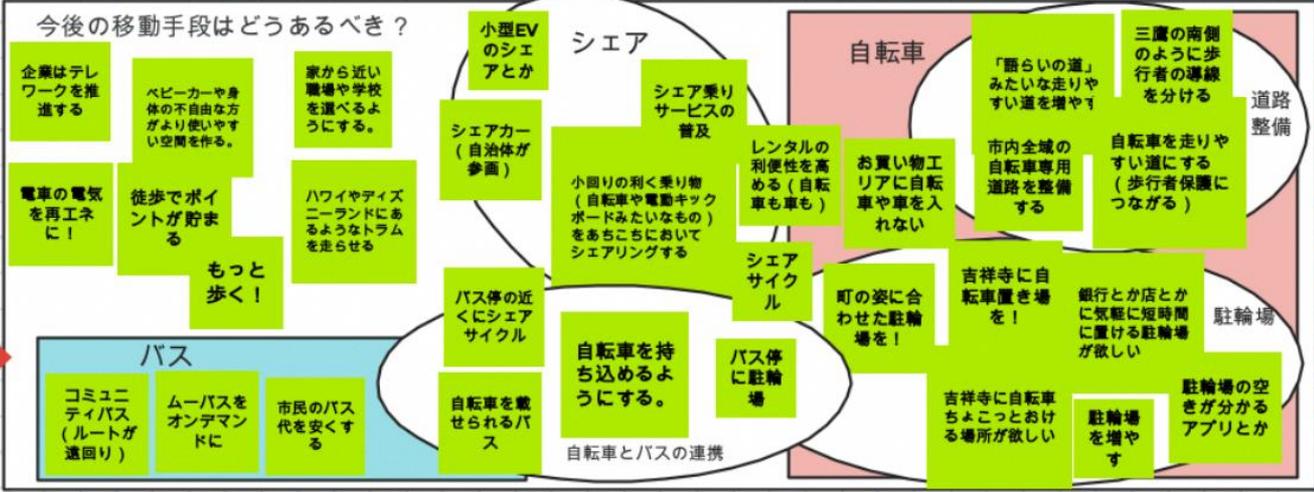
オンライン αグループ

波及効果

まとめ



交通の
リ・デザイン？



追加意見（会議後アンケートより）

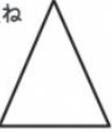
オンラインβグループ

行動 波及効果 意見交換

武蔵野市の伸ばしたいところ、変えたいところ

働く・学ぶ 動く 遊ぶ

- ・日々の地道な努力の積み重ね
- ・長い目で見て大きな決断
- ・地域社会への働きかけ



遊ぶ

電気を使わない遊びをする。
(野球、サッカー、トランプ、UNO、人生ゲームなど)

体を動かすので健康になる。

公園以外でも遊んだり、健康増進に繋がる遊具を設ける(信号機に雲梯など)

歩くと発電できる仕組み、ジムで運動したら発電できる仕組み

働く

テレワークの実施(武蔵野市がバックアップ)

域内の循環

副業推進(武蔵野市の業態を副業として、募集する)

武蔵野市の安定

テレワーク学級(デジタルデバイスの普及を背景に、民間施設で授業を受ける)

可処分時間の創出

テレワーク・オンライン授業・オンラインお稽古

学ぶ

健康になる

子どもの安全、子育て世代の安全

健康になり、武蔵野市民の平均寿命が伸びる・長く住みやすい街づくりに繋がる

日ごろから運動することで体力がつく

動く

自転車移動すること

自転車レーンを増やしてほしい

自転車レーンが増やしてほしい

自転車が進めるように道路を広くしてほしい

みんなで道路整備のマップング、ランキングをつける

雨でも濡れない自転車道

快適な自転車道の整備

動く

買物の回数を減らす行動

家庭菜園(買い物移動回数・距離削減、学び)

買物効率化(週1回・オンラインショッピング)

家庭菜園

住民税の使用目的を市民が選択できるようにしてほしい

公園の緑を増やす

メモ

- ・以前の暮らしからのアイデア
- ・移動しないで集むということ
- ・仕事の地産地消→行政の業務を副業でも通勤距離も短くなる
- ・住む町として選ばれる
- ・安全なまちづくり
- ・こどもの環境教育への効果
- ・長期的な視点

追加意見(会議後アンケートより)

意見交換にて住民税の使途をふるさと納税のように市民が選択できるようにするという意見がありました。また、行動のなかで、自転車が環境配慮に良いと認識されている参加者の方が多いました。両者の視点を踏まえ、住民投票で武蔵野市の道路のうち、車道→歩道、自転車道にして欲しい道を選び、社会実験として、歩行者天国や自転車専用道とする取組があると良いと思いました。良さが実感できれば次の環境施策につながると思います。